

問い合わせ先
第二管区海上保安本部 海洋情報部
監理課長 牛島 学
電話 022-363-0111 (内線 2510)



令和 2 年 4 月 24 日
第二管区海上保安本部

大船渡港の海図を全面リニューアル ～地盤の隆起により水深に変化～

東日本大震災の影響により、宮城県沿岸を中心に広範囲にわたり地盤の沈降が発生しましたが、その後、東北地方太平洋側の港湾では、ゆっくりとした地盤の隆起が長期間継続しています。このため、港湾によっては水深が浅くなっている可能性があることから、順次調査確認を実施しています。

大船渡港について、これまで実施した潮汐観測及び水深測量により、地盤の隆起による水深変化が確認されたことから、今般、最新の測量成果を反映し海図を改訂しました。

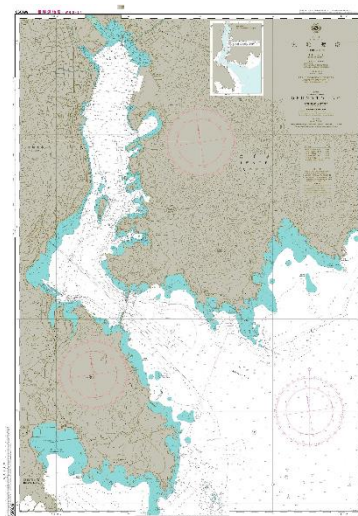
改訂した大船渡港の海図は、4月24日に発行されます。

1. 改訂の経緯

大船渡港の海図は、震災により海底の状況の著しい変化が想定されたことから、主要な航路、岸壁付近の水深測量成果を使用して平成23年11月に一部更新（補正図発行）、その他の区域を測量した成果を使用して平成26年7月に改訂をしたところです。

海上保安庁では、震災の影響による地盤の変動について、航海の安全を確保するため、水深測量を継続して実施しており、今回の改訂にもこの成果が反映されています。

(改訂した大船渡港の海図)



2. 海図の概要

海図番号	図名	縮尺	図積	価格[税込]	発行日
W1093	大船渡港	1/10,000	全紙※	3,520円	令和2年4月24日

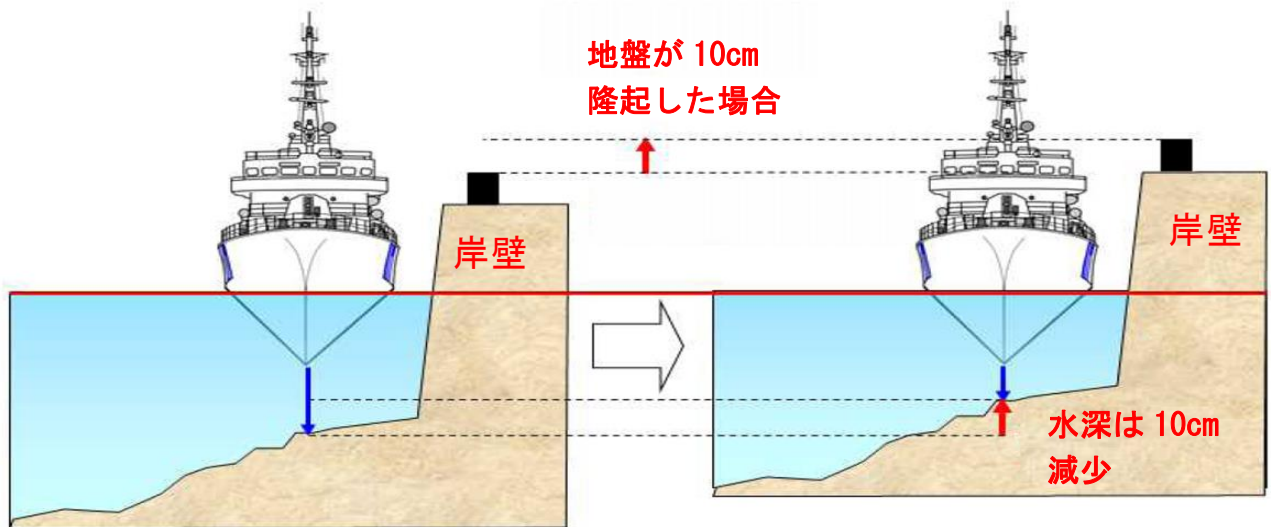
※全紙とは、約109cm×77cmの用紙

3. 海図は最寄りの水路図誌販売所又は取次店で購入できます。販売所等については、以下のホームページ「海図の購入方法（水路図誌販売所）」や当庁刊行の水路図誌目録をご覧ください。

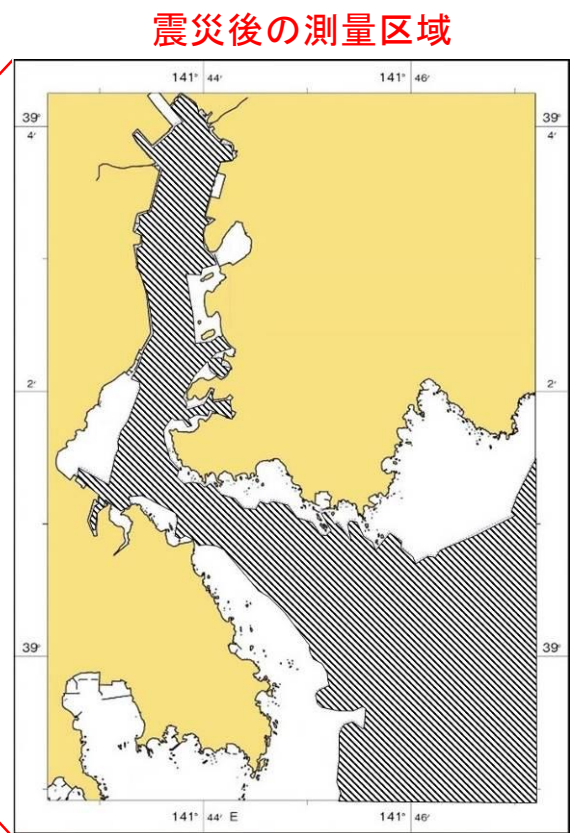
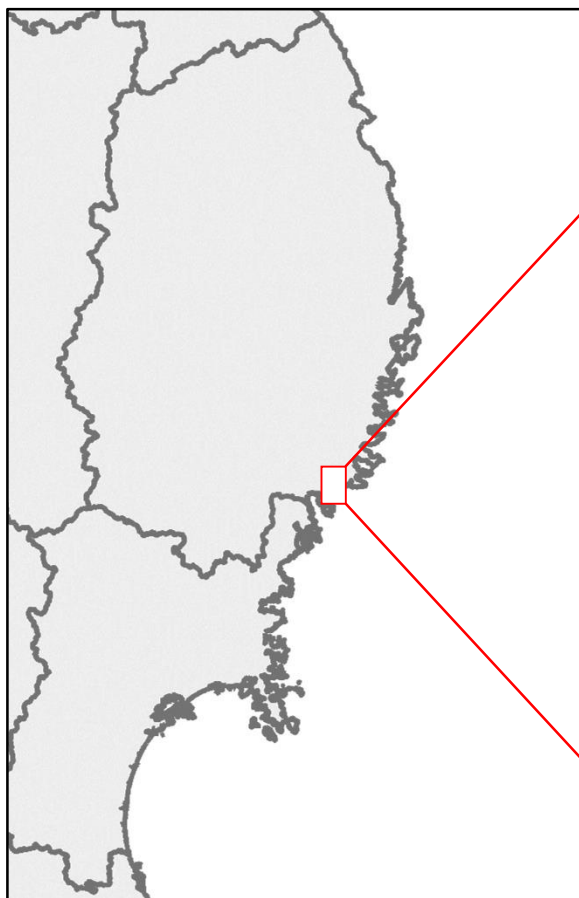
ホームページ（海図の購入方法）

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/default.htm>

○地盤隆起に伴う港の水深変化イメージ図



○海図の範囲及び震災後の測量区域

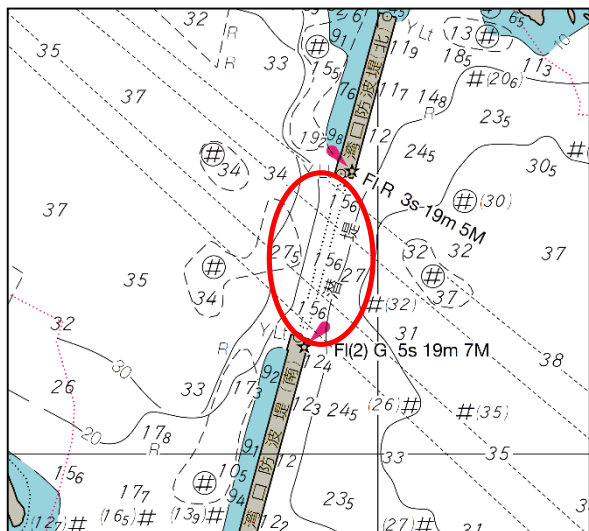


※測量区域は斜線部

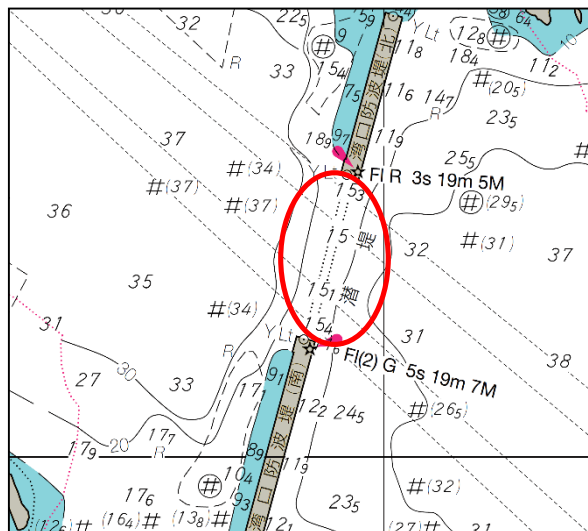
改訂前後の主な変化

○湾口防波堤付近（地盤の隆起の影響や最新の測量結果反映）

改訂前 潜堤の最浅水深 15.6m

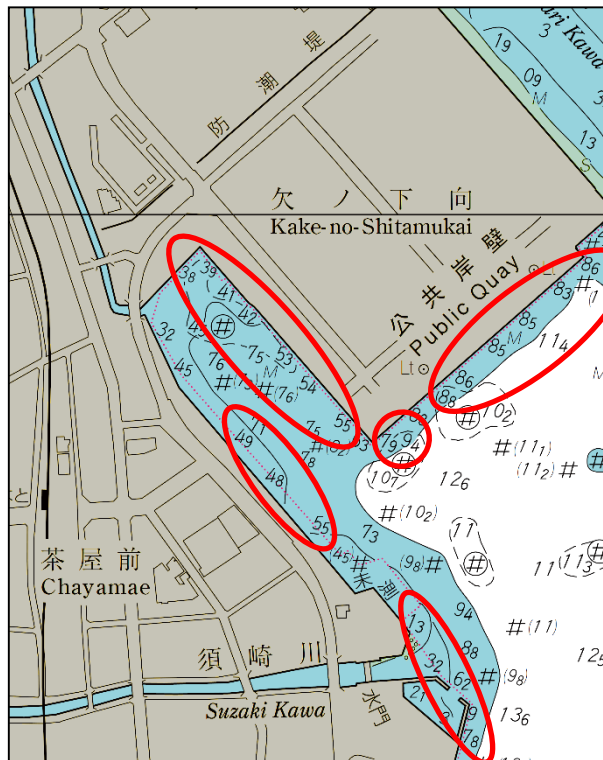


改訂後 潜堤の最浅水深 15.0m

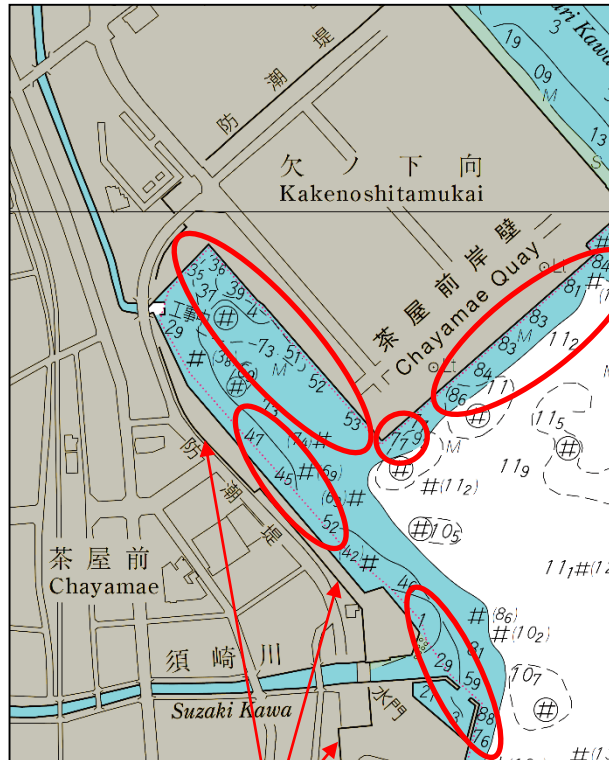


○茶屋前岸壁付近（防潮堤完成、地盤の隆起の影響を反映）

改訂前



改定後



○で囲まれた水深が 0.2~0.3m 減少

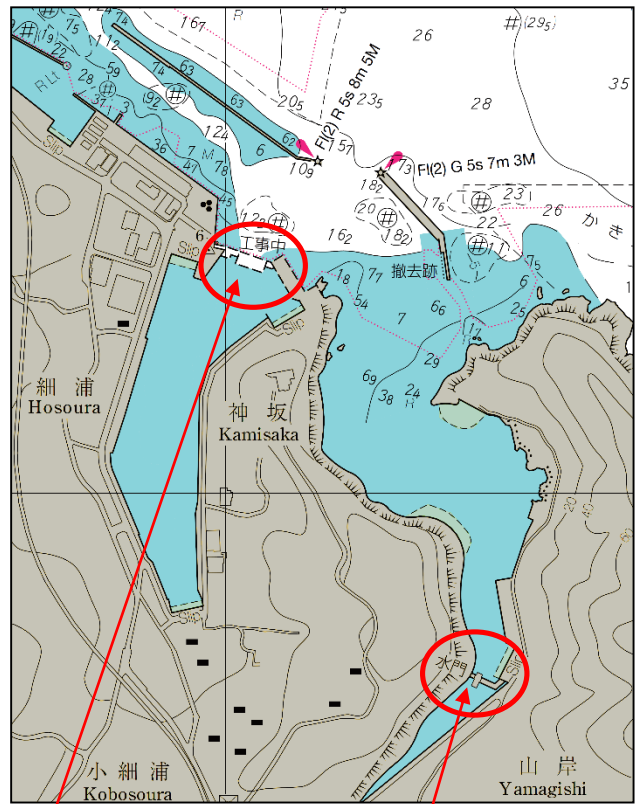
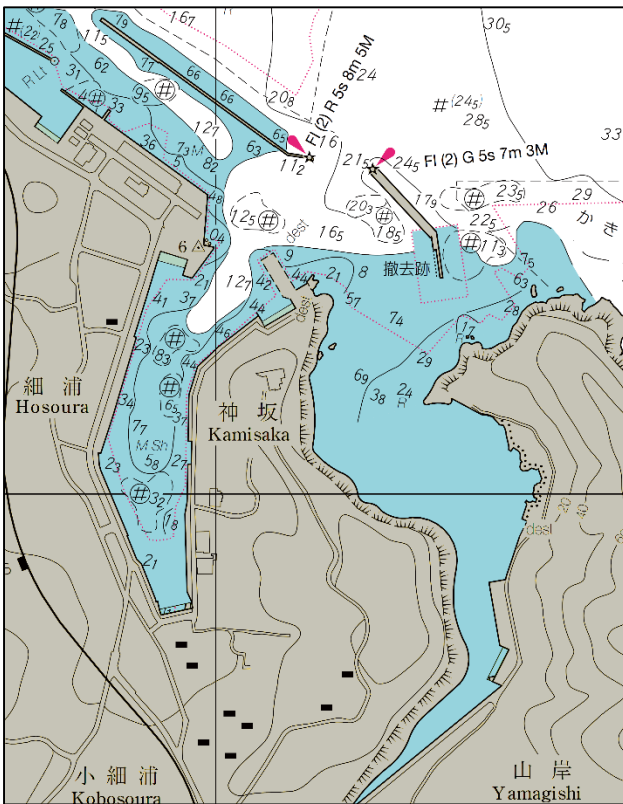
防潮堤が完成

※他の水深は地盤の隆起だけではなく工事・障害物撤去や河川からの土砂堆積等のため変化したものと思われる。最新の測量結果を反映した。

○細浦付近（水門完成、浮上式防潮堤工事）

改訂前

改定後



浮上式防潮堤工事

水門が完成